1 本計画の基本的な考え方(本編 P13~)

本計画は、第2章の産業ミュージアム基本構想に基づき、(仮称)産業ミュージアム(以下「産業ミュージアム」という。)で実施する事業の方向性等について定めることで、基本理念で掲げる「板橋の産業ブランドを向上させるとともに、次世代の産業を担う人材や理系人材を育む拠点」を整備することを目的として策定する。区が持つ地域資源を生かしながら、多様な組織が協力して新しい価値を生み出し、都市全体の魅力を高める「創造都市」の実現といった視点も視野に入れながら、整備を進めていく。

2 ソフト事業計画(本編 P24~)

江戸時代から近年に至るまで、当地で永く行われてきた「研究」というキーワードに着目し、次の基本的な考え方に基づき、6つのテーマに沿ってソフト事業を展開していく。

(1) ソフト事業を展開していくための基本的な考え方

- ①当地の歴史を背景とした事業展開
- ②日々研究・実験が行われ、進化・発展を続ける事業展開
- ③多様な主体との共創により、新たな価値が創造される事業展開
- ④柔軟に運用が可能な事業展開
- ⑤デジタル技術を積極的に活用した事業展開

(2) ソフト事業の展開の方向性



日本の産業と科学技術の 進展に貢献した地で 区産業の技術に触れ、 創造力を育む事業



この地ならではの物理・科学の体験を通して、次世代の理系人材を育む事業



産業遺産を保存・展示し、 この地の研究の歴史を発 信する事業



企業や大学・研究機関等 が連携して行う実証実験の 拠点としての事業



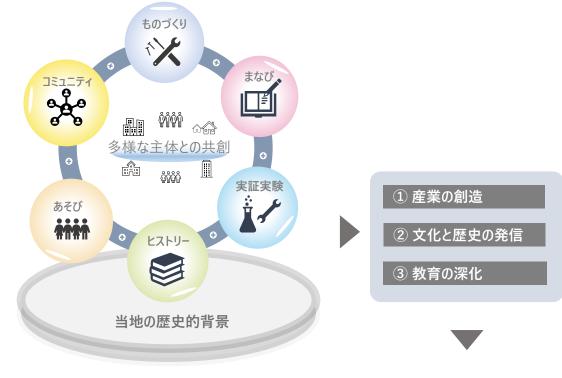
国史跡の空間で「ひと」と 「ひと」がつながり、文化 が生まれる事業



歴史的価値がある建造 物内で、子どもたちがの びのび遊べる事業

◆ 事業展開のイメージ

6つのテーマに基づき、多様な主体との共創による事業展開を行うことで、基本コンセプトとして掲げる「創造と知の起点」として社会的価値を生み出し、生まれた価値を区内外へ拡げていく。



加賀の歴史に紡がれた、創造と知の起点としての役割を発揮する

- これまで知られてこなかった加賀の歴史を学び、未来が創造される
- 好奇心を呼び起こし、探求と研究のバトンを未来につないでいく
- 「ひと」と「ひと」とのつながりが生み出され、新たな挑戦がはじまる

創造と知の起点として多様な主体と共創し「社会的価値」を区内外へ拡げる



- ◆ 区の産業ブランドの向上
- ◆ 次世代の産業を担う人材や理系人材の育成
- ◆ 区への愛着と誇りの醸成

3 施設計画(本編 P41~)

当地の歴史を含めた建造物内の"保存"と産業ミュージアムとしての"活用"を図ることにより、"保存"と "活用"を両立させる。

歴史的な建造物の"保存"と次世代のための"活用"を両立させる

歴史を含めた建造物の"保存"

◎建造物全体の保存

本建造物は、史跡としての価値保存の観点から、劣化部分の補修等を行い、安全性を担保するための耐震化を施していく。





物理試験室 外観

爆薬理学試験室 外観

◎歴史的価値のあるエリアの展示

史跡の理解につながる歴史的価値を持った箇所(電気軌道のトロッコレール跡、宇宙線観測部 屋等)は、展示に活用する。





トロッコレール跡(物理試験室内)

宇宙線観測機器(物理試験室内)

産業ミュージアムとしての"活用"

◎にぎわいを生む場としての空間設計

人が集いコミュニケーションが生まれる場として、 動線や採光・必要な設備設置等を行い、居心 地の良い空間を設計する。





室内の様子(物理試験室内)

◎必要設備の設置

史跡公園の来訪者が訪れることを想定し、建 造物内に具備すべき設備を設置する。

〇必要な機能の整理

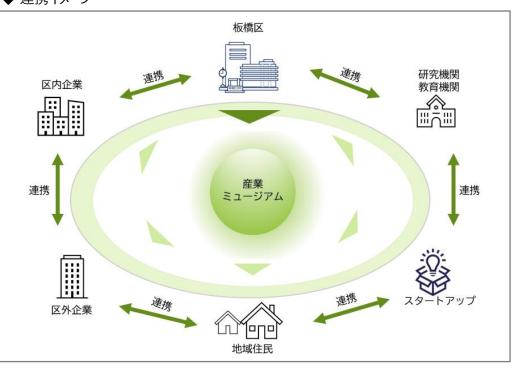
本施設に必要な機能を以下に整理する。なお、詳細な機能要件については、令和8年度以降に実施する、建物内部のデザインや動線の設計等の検討と合わせてさらなる整理を行うこととする。

- ① コミュニケーター機能(学芸員・ボランティア)
- ② 展示機能
- ③ 生涯学習機能(体験・交流機能などのソフト事業)
- ④ 物販機能
- ⑤ 飲食機能
- ⑥ その他共有機能(トイレ、手洗い等)

4 多様な主体との連携による事業運営(本編 P46~)

多種多様な研究が行われてきた歴史を持つ当地では、ひととひとがつながり、意見やアイデアが 交わされることで、数々の価値が創造されてきた歴史がある。事業運営にも、その文化を引き継ぎ、 産業ミュージアムを通じて、企業、大学や研究機関などの様々な主体がつながり、共創することで、新 たな価値の創造を図っていく。また、加賀エリアをはじめとした近隣の地域や、小中学校、大学等との 連携や、ボランティアによる運営への協力等、多様な主体との連携を通じて地域から愛される施設を めざしていく。

◆ 連携イメージ



5 オープンまでのスケジュール(予定)(本編 P48)

令和7年度

11月上旬 区民環境委員会報告 「本構想・計画」(素案) について

11月上旬

~11月下旬 パブリックコメントの実施

1月中旬 庁議報告

2月中旬 区民環境委員会報告 「本構想・計画」(原案) について

建造物内部の整備デザイン等の検討

3月下旬 本構想・計画の策定・公表

令和8年度 令和9年度

基本設計·実施設計

~10年度

令和11年度 整備工事、グランドオープン